

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）

平成25年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
紀伊山地付加体における深層崩壊対策に資する水文調査・解析手法の構築 (研究期間：H25年～H27年)	京都大学 教授 小杉 賢一郎	A
<p>&lt;研究概要&gt;</p> <p>本研究は、平成23年台風12号の豪雨で深層崩壊が多発し、甚大な被害をもたらした紀伊山地を対象として、深層崩壊対策の検討に資する水文調査・解析手法の構築を目的としたものである。</p> <p>地下水位の変動解析によって、降雨に伴う地下水位ピークの推定に適切な雨量指標が提示され、深層崩壊の発生時刻の予測に寄与する成果が得られた。また、湧水の安定同位体比の解析により、流域界の尾根を経路とする山体地下水の流れの存在が示唆され、崩壊危険箇所予測に寄与する成果が得られた。さらに、物理水文モデルを開発し活用方法を検討することにより、警戒避難情報の提供手法・ハード対策の評価手法が示された。</p>		
<p>&lt;事後評価コメント&gt;</p> <p>本研究は、水文観測により地下水位と雨量指数のピークの対応関係について貴重なデータが得られている。この観測データをもとに、地下水位変動予測解析手法の検討を行い、物理水文モデルを提案して深層崩壊発生危険度の評価手法を提示しており、深層崩壊の機構解明やハード対策の評価手法として期待できるものである。</p> <p>今後は、地下水排除工のデータを用いた危険度の評価手法の高度化に向けて、解析・検討を進めて頂きたい。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C：一定の研究成果があった
- D：研究成果があったとは言い難い